

1. 基本情報									
事務事業コード	01020104	事務事業名	道路新設改良事業			担当部	建設部		
						担当課	土木課		
政策名	01 快適で魅力あるまちづくり					グループ	道路整備第1・2G		
施策名	02 交通体系の充実					電話番号	45-5111		
基本事業名	01 道路ネットワークの構築及び道路施設の保全					内線番号	2771・2774		
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 ~ ） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ ~ ）			
	款	08 土木費							
	項	02 道路橋梁費							
	目	02 道路新設改良費			根拠法令・条例等				
事務の区分	自治事務（法令で義務付けられていない事務）				関連計画				
事務種別	施設・設備・道路整備事務			裁量区分	裁量性強	評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細を記述）

1. 「市町村の合併の特例に関する法律」の下で合併した市町村が行う市町村建設計画（第一次霧島市総合計画 実施計画書）に基づく整備事業。（特例債事業）

2. 地方公共団体が単独事業として行う市町村道の整備事業。（道路整備事業債事業）

3. 純単独事業。

霧島市総合計画の基本計画に基づき、計画した道路ネットワークの市道及び橋梁について、調査設計及び施工を計画的に行う。

- ・計画路線の調査測量設計業務の委託を行う。
- ・計画路線について地元説明会を行う。
- ・道路用地の買収に係る交渉及び契約を行う。
- ・道路改良工事を行う。

① 活動指標 （事務事業の活動量）		単位	23年度 （実績）	24年度 （実績）	25年度 （実績）	26年度 （見込）	27年度 （見込）
ア	事業路線	路線	17	21	23	15	14
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 （誰、何を対象にしているのか）		③ 対象指標 （左記②対象の大きさを表す指標）	単位	23年度 （実績）	24年度 （実績）	25年度 （実績）	26年度 （見込）	27年度 （見込）
ア	市民							
イ	道路の利用者							
ウ								
④ 意図 （②対象をどうしたいのか）		⑤ 成果指標 （左記④意図の達成度を表す指標）	単位	23年度 （実績）	24年度 （実績）	25年度 （実績）	26年度 （目標）	27年度 （目標）
ア	通行の安全が図られる。							
イ	快適に移動できるようになる。							
ウ								

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 （さらにどのような成果に結びつのか）		⑦ 基本事業の成果指標 （左記⑥意図の達成度を表す指標）	単位	23年度 （実績）	24年度 （実績）	25年度 （実績）	26年度 （目標）	27年度 （目標）
ア	安全・快適に移動ができる							
イ								
ウ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

（法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等）

通学路変更に伴う、国分地区の清水～新町線に道路拡幅の早期着工、早期完成の要望が寄せられた。また隼人地区の宮の杜線についても早期完成の要望が寄せられた。

4. 事業費の推移

事業費 投入量	財源内訳	単位	23年度 （決算）	24年度 （決算）	25年度 （決算）	26年度 （計画）	27年度 （計画）
	国庫支出金	千円		0	70,780	0	0
	県支出金	千円		0	0	0	0
	地方債	千円		314,400	187,300	241,700	301,900
	その他	千円		0	0	0	0
	一般財源	千円		77,076	112,837	26,300	20,280
	事業費	千円	0	391,476	370,917	268,000	322,180

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績（取組） <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成25年度の成果 <左記の実績（取組）による成果を記載>
○24年度繰越 小浜海岸線(工事延長122m)、川跡～園田線(工事延長312m) 宝瀬線(工事延長235m)、塩浸線(工事延長62m) ○25年度 鎮守尾～上之原線(用地補償一式)、川跡～有下線(設計委託345m)、天降川東通り線(工事延長120m)、広瀬～野口線(工事延長77m)、天降川東通り2号線(工事延長80m)、名波町～梅ヶ谷線(工事延長89m)、新川上線(工事延長129m)、小浜海岸線(修正設計)、宮の杜線(用地補償一式)、高江山之口線(踏切拡幅)、内山田～小田線(工事延長44m)、長浜中央線(工事延長33m)、野久美田清水線(工事延長79m)、神宮～内山田線(概略設計300m)、十三塚原線(工事延長151m)、宝瀬線(用地補償一式)、清水～新町線(工事延長216m)、三縄～嘉例川線(工事延長80m)	今年度は国分地区の天降川東通り線、広瀬～野口線、天降川東通り2号線、名波町～梅ヶ谷線、清水～新町線、隼人地区の新川上線、高江山之口線、内山田～小田線、長浜中央線、野久美田清水線、溝辺地区の十三塚原線の改良工事を進めたことにより、市民の円滑な移動性が高まり、地域を訪れる人の安心感も向上した。 さらに、国分地区の川跡～有下線の測量設計が完了し、工事着手に向けての準備が整った。

事務事業コード	01020104	事務事業名	道路新設改良事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
C 効率性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
D 公平性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
C 効率性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト削減を図っているため、これ以上の事業費の削減はできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
C 効率性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	事業に関しては最低限の職員数で担当している。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督業務は勤務時間内に対応することで人件費の抑制を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	設計段階において、工法の詳細検討をして、よりコスト削減を図っており、継続して事業を行う。工事用地の取得を進め、事業の進捗を図り、成果の早期発現に努める。							
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	道路ネットワークの構築に向けて地域の拠点施設等を結ぶアクセス道路の整備を行う。(予定) 国分地区・・・川跡～新川線、天降川東通り線、広瀬～野口線、天降川東通り2号線、敷根～上之段線(新規)、国分中央高校～郵便局線(新規) 隼人地区・・・小田～松山西線、小浜海岸線、宮の杜線、三縄～嘉例川線、内山田～小田線、神宮～内山田線、神宮～隼人団地線(新規) 霧島地区・・・戸崎原線(新規) 福山地区・・・宝瀬線、(仮称)牧之原運動公園～運動場線(新規)							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1) 事務事業の改革改善方向性									
(2) 総評									

1. 基本情報										
事務事業コード	01020105	事務事業名	辺地対策道路整備事業				担当部	建設部		
						担当課	土木課			
政策名	01 快適で魅力あるまちづくり					グループ	道路整備第1・2G			
施策名	02 交通体系の充実					電話番号	45-5111			
基本事業名	01 道路ネットワークの構築及び道路施設の保全					内線番号	2771・2774			
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)				
	款	08 土木費								
	項	02 道路橋梁費								
	目	02 道路新設改良費								
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)				根拠法令・条例等					
事務種別	施設・設備・道路整備事務			裁量区分	裁量性強	評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 辺地対策事業・・・「辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律」に基づき、辺地(交通条件及び自然的、経済的、文化的諸条件に恵まれず、他の地域と比較して、住民の生活文化水準が著しく低い山間地、離島、その他のへんびな地域)とその他の地域との間における格差の是正を図ることを目的として行われる公共的施設の整備(辺地債事業)

霧島市総合計画の基本計画に基づき、計画した道路ネットワークの市道及び橋梁について、調査設計及び施工を計画的に行う。
 ・計画路線の調査測量設計業務の委託を行う。
 ・計画路線について地元説明会を行う。
 ・道路用地の買収に係る交渉及び契約を行う。
 ・道路改良工事を行う。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア	事業路線	路線	4	2	7	8	7
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 辺地地域に住んでいる市民							
イ 辺地地域を訪れる人							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 円滑に移動できる							
イ 安心して訪れることができる							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 安全・快適に移動ができる							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)		4. 事業費の推移		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
国分地区の上之段～塚脇線、霧島地区の木原～年之神線、横川地区の山内田線に道路拡幅の早期着工、早期完成の要望が寄せられた。		事業費	投入量	国庫支出金	千円		0	0	0	
				県支出金	千円		0	0	0	
				地方債	千円		69,400	103,100	175,300	192,200
				その他	千円		0	0	0	0
				一般財源	千円		2,406	541	0	0
				事業費	千円		0	71,806	103,641	175,300

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
○24年度繰越 □輪野～永迫線(工事延長168m) ○25年度 □輪野～永迫線(工事延長110m) 上之段～塚脇線(設計委託1020m) 狭名田～水流山線(用地補償一式) 木原～年之神線(設計委託330m) 永池～狩川線(工事延長140m) 泉水～市後柄線(用地補償一式) 山内田線(設計委託160m)	今年度は国分地区の口輪野～永迫線、霧島地区の永池～狩川線が完成したことにより、地域の市民が円滑に移動でき、また、地域を訪れる人が安心して訪れることができるようになったことにより、辺地地域の格差是正を図ることができた。 さらに、国分地区の上之段～塚脇線、霧島地区の木原～年之神線、横川地区の山内田線の測量設計が完了し、工事着手に向けての準備が整った。

事務事業コード	01020105	事務事業名	辺地対策道路整備事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
C 効率性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
D 公平性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		
	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト削減を図っているため、これ以上の事業費の削減はできない。	
E 効果性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	事業に関しては最低限の職員数で担当している。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督業務は勤務時間内に対応することで人件費の抑制を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
F 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	設計段階において、工法の詳細検討をして、よりコスト削減を図っており、継続して事業を行う。用地の取得を進め、事業の進捗を図りたい。							
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	辺地地域における交通条件の格差是正を図るため、道路の整備を行う。(予定) 国分地区・・・口輪野～永迫線、上之段～塚脇線 霧島地区・・・狭名田～水流山線、木原～年之神線、泉水～市後柄線 横川地区・・・山内田線、横川～山ヶ野線 溝辺地区・・・新香線							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1) 事務事業の改革改善方向性									
(2) 総評									

1. 基本情報									
事務事業コード	01020106	事務事業名	地方特定道路整備事業			担当部	建設部		
						担当課	土木課		
政策名	01 快適で魅力あるまちづくり				グループ	道路整備第1・2G			
施策名	02 交通体系の充実				電話番号	45-5111			
基本事業名	01 道路ネットワークの構築及び道路施設の保全				内線番号	2771・2774			
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ ~ H25 ）			
	款	08 土木費							
	項	02 道路橋梁費							
	目	02 道路新設改良費			根拠法令・条例等				
事務の区分	自治事務（法令で義務付けられていない事務）				関連計画				
事務種別	施設・設備・道路整備事務			裁量区分	裁量性強	評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細を記述）
 地方特定道路整備事業は地方特定道路整備計画に基づき、地方公共団体が単独事業として行う、都道府県道又は市町村道の新設又は改良事業。

霧島市総合計画の基本計画に基づき、計画した道路ネットワークの市道及び橋梁について、調査設計及び施工を計画的に行う。
 ・計画路線の調査測量設計業務の委託を行う。
 ・計画路線について地元説明会を行う。
 ・道路用地の買収に係る交渉及び契約を行う。
 ・道路改良工事を行う。

① 活動指標（事務事業の活動量）		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア	事業路線	路線	3	3	3	0	0
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 市民							
イ 道路の利用者							
ウ							

(3) 上位の基本事業

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 通行の安全が図られる。							
イ 快適に移動できるようになる。							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 安全・快適に移動ができる							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
 溝辺地区の論地通り1号線の道路拡幅の早期着工、早期完成の要望が寄せられた。
 また、国分地区の川跡～新川線の早期完成の要望が寄せられた。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
事業費 投入量	財源内訳	千円		0	0	0	0
	国庫支出金	千円		0	0	0	0
	県支出金	千円		0	0	0	0
	地方債	千円		84,200	37,800	0	0
	その他	千円		0	0	0	0
	一般財源	千円		10,035	10,691	0	0
	事業費	千円	0	94,235	48,491	0	0

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

○24年度繰越 川跡～新川線(工事延長298m) 高千穂～泉水線(工事延長150m) ○25年度 川跡～新川線(設計委託330m) 論地通り1号線(設計委託440m)	今年度は国分地区の川跡～新川線、溝辺地区の論地通り1号線の測量設計が完了し、工事着手に向けての準備が整った。
--	--

事務事業コード	01020106	事務事業名	地方特定道路整備事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない		
A 目的妥当性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
<input type="checkbox"/> 影響がある			
<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない			
B 有効性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト削減を図っているため、これ以上の事業費の削減はできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	事業に関しては最低限の職員数で担当している。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督業務は勤務時間内に対応することで人件費の抑制を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
									○
(2) 平成26年度の改革改善の内容	平成25年度までの事業								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	平成25年度までの事業								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									

1. 基本情報											
事務事業コード	01040202	事務事業名	県単急傾斜地崩壊対策事業				担当部	建設部			
						担当課	土木課				
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり				グループ	河川港湾グループ				
施策名	04	防災対策の推進				電話番号	45-5111				
基本事業名	02	災害危険箇所の整備				内線番号	2781、2782				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 63 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)				
	款	08	土木費				根拠法令・条例等	鹿児島県単急傾斜地崩壊対策事業補助金要綱			
	項	03	河川費								
	目	01	河川管理費								
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画					
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性強	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

急傾斜地崩壊危険箇所において、土砂災害から住民の生命・財産の保護を図るため、防災工事などの対策工事を実施する。
 1. 傾斜度30度以上
 2. 高さ5m以上
 3. 人家5戸以上(5戸未満でも、官公署、災害時要援護者関連施設、学校、旅館等のある箇所を含む)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 工事箇所数	箇所	3	2	4	3	3
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 急傾斜地危険箇所の防護区域内の住民	世帯数	戸	3,699	3,699	3,689	3,669	3,668
イ 急傾斜地危険箇所の防護区域内の住民	危険箇所数	箇所	341	341	341	341	341
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 土砂災害から住民の生命、財産を守る	危険箇所数に対する整備済箇所数の割合=工事進捗率	%	30	31	31	31	32
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 安全性が確保される	危険箇所数に対する整備済箇所数の割合=工事進捗率(砂防関係)	%	31.0	31.5	32.0	32.5	33.0
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
 急傾斜地崩壊危険箇所に指定され、県単急傾斜地崩壊対策事業の採択要件を満たしている地区で、土砂災害から住民の安全確保を図るため、昭和63年から事業導入を行ったものである。県補助金が年々縮小されており、工事完成までに期間を要するようになった。住民からは、早期完成の要望がなされている。特に一昨年の豪雨により、被災箇所が増えたため、要望箇所も増加した。住民の生命・財産の保全に関する事業であるため、要望箇所への早めの事業導入が求められている。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0
		県支出金	千円		20,850	25,030	11,245
		地方債	千円		0	0	0
		その他	千円		0	0	0
		一般財源	千円		20,850	25,800	14,095
		事業費	千円	0	41,700	50,830	25,340

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

瀧辺: 宮川内6地区と竹山地区 霧島: 床浪地区を現在継続的に整備している。	急傾斜地の危険箇所を整備することにより、土砂災害から住民の生命・財産を守ることができた。
---	--

事務事業コード	01040202	事務事業名	県単急傾斜地崩壊対策事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	急傾斜地崩壊の恐れのある危険箇所において、土砂災害から、市民の生命・財産を守ることは、市の役割であり、安全性が確保されることに結びついている。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	急傾斜地崩壊の恐れのある危険箇所において、土砂災害から、市民の生命・財産を守ることは、市の義務であり、妥当性がある。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	急傾斜地崩壊危険箇所の防災対策を行うことで、危険箇所を減少し、安全性の確保が図られ、成果向上につながる
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	市内の急傾斜地崩壊危険箇所は多く、事業を廃止・休止すると、災害危険箇所の整備がなされないこととなり、安全確保が図れなくなる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 治山事業(林務水産課) 事業目的や採択基準が異なることから、統合・連携はできない。
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	整備基準に基づいての整備であるが、危険箇所ごとの状況を精査しながら工法を検討し、事業費の削減を図る。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	用地無償譲渡に向けた地権者との交渉や工事費積算・現場指導を職員が担当することになる。これらは、市職員でなければ対応できない業務となるため、削減はできない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市内全域における急傾斜地崩壊の恐れのある危険箇所を整備する事業であり、対象は要援護者施設や公共施設等様々であることから、公平性は確保されている。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< >						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 平成26年度の改革改善の内容	○			○				
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	急傾斜地危険箇所の防災工事であるが、現地状況等を精査し、現場に合わせた工法検討によるコスト削減を図る。 土砂災害から、住民の生命・財産を守るための対策工事であることから、今後も継続していく。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1) 事務事業の改革改善方向性									
(2) 総評									

1. 基本情報							
事務事業コード	01040601	事務事業名	総合治水対策事業	担当部	建設部		
				担当課	土木課		
政策名	01 快適で魅力あるまちづくり			グループ	河川港湾グループ		
施策名	04 防災対策の推進			電話番号	45-5111		
基本事業名	06 治水対策の推進			内線番号	2781、2782		
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ H16 ~ ）		
	款	08 土木費			根拠法令・条例等	特になし	
	項	03 河川費					
	目	01 河川管理費					
事務の区分	自治事務（法令で義務付けられていない事務）			関連計画			
事務種別	施設・設備・道路整備事務		裁量区分	裁量性強	評価区分	簡易評価	
					評価対象	1次評価	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細を記述）
 国分市街地及び国分、隼人地区の天降川流域周辺部で、豪雨時に発生している床上・床下浸水並びに道路が冠水するなどの被害を低減するために、排水施設の新設・改良、貯留施設の整備などによる対策を行うものである。
 平成16年度からは河川、農用地及び市街地を一体的に捉えた「総合治水対策」の基本構想および基本計画を作成し、現在までに国分府中地区や国分中央四丁目付近の一部排水路の改良工事を完了している。
 また、隼人地区については、姫城地区における治水対策の基本計画を作成済みである。
 現在、これまでの「霧島市総合治水対策」の具体的内容及び整備効果を検証し、現時点での地形的特性や流域の現状と将来予測（構想）、排水施設の現状と課題等を踏まえた「総合治水対策」を策定している。
 今後も長・短期計画に基づき、実現可能な事業の実施を行っていくが、現在は国分福島地区の排水路整備及び隼人姫城地区の排水機場整備等の短期計画に基づいた事業に取り組んでおり、事業完成後にはその流域での効果を発揮するものとなる。

① 活動指標 （事務事業の活動量）	単位	23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（見込）	27年度（見込）
ア 浸水被害軽減区域	ha	-	-	-	-	14
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 （誰、何を対象にしているのか）	③ 対象指標 （左記②対象の大きさを表す指標）	単位	23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（見込）	27年度（見込）
ア 浸水被害を受けると予想される住民と地域							
イ 治水対策が必要な箇所							
ウ							
④ 意図 （②対象をどうしたいのか）	⑤ 成果指標 （左記④意図の達成度を表す指標）	単位	23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（目標）	27年度（目標）
ア 豪雨時における浸水被害の低減が図られる							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 （さらにどのような成果に結びつのか）	⑦ 基本事業の成果指標 （左記⑥意図の達成度を表す指標）	単位	23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（目標）	27年度（目標）
ア 水害の被害が軽減される							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等（法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等）

住民より早急な浸水解消の要望が寄せられている。早急な実施を望む意見が多い。

4. 事業費の推移

事業費 投入量	国庫支出金	千円		0	0	0	0
	県支出金	千円		0	0	0	0
	地方債	千円		19,500	30,900	237,500	200,000
	その他	千円		0	0	0	0
	一般財源	千円		5,977	19,515	0	60,000
	事業費	千円	0	25,477	50,415	237,500	260,000

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績（取組） <取組内容を数値等により具体的に記載> **(2) 平成25年度の成果** <左記の実績（取組）による成果を記載>

国分福島地区と隼人姫城地区の浸水流域を軽減する為の樋門整備工事と計画策定を行った。	国分福島地区及び隼人姫城地区の浸水被害軽減に向けた取り組みが図られた。
---	-------------------------------------

事務事業コード	01040601	事務事業名	総合治水対策事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
	<input type="checkbox"/> 結びついていない		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)		類似事業がある場合の事務事業名等
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	浸水被害が発生している箇所が多くが住宅密集地に位置しており、用地確保及び工事に多額の経費が必要となるが、施設設置場所を道路等の公共用地を最大限に利用し、新たに補助事業等の導入も検討していくことで削減できる。	
	<input type="checkbox"/> 削減できない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	地元説明会、用地取得のための地権者との交渉、施設設計の委託費積算や工事費積算及び現場指導を職員が担当することになる。これらは、市の職員でなければ対応できない業務のため削減できない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○			○				
(2) 平成26年度の改革改善の内容	「総合治水計画」に基づき継続して事業を実施していくが、事業完了には多大な事業費と事業期間が長期にわたることから、維持修繕等により軽微な効果が期待できるものについては、別途取り組んでいく。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	豪雨災害等による浸水被害の軽減を図るため、現在取り組んでいる国分福島地区及び隼人姫城地区において、事業の完成を目指していく。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									

1. 基本情報										
事務事業コード	01020107	事務事業名	過疎対策事業			担当部	建設部			
						担当課	土木課			
政策名	01 快適で魅力あるまちづくり					グループ	道路整備第1・2G			
施策名	02 交通体系の充実					電話番号	45-5111			
基本事業名	01 道路ネットワークの構築及び道路施設の保全					内線番号	2771・2774			
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 ~ 年度） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ ~ ）				
	款	08 土木費				根拠法令・条例等	過疎地域自立促進特別措置法第2条、同法第6条			
	項	02 道路橋梁費								
目	目	02 道路新設改良費			関連計画					
事務の区分	自治事務（法令で義務付けられていない事務）				関連計画					
事務種別	施設・設備・道路整備事務			裁量区分	裁量性強	評価区分	簡易評価	評価対象	2次評価	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細を記述）

過疎対策事業は過疎地域自立促進特別措置法第2条の規定により公示された過疎市町村が同法第6条の規定により策定する市町村計画に基づき実施する事業で住民の日常的な移動のための交通手段の確保、集落の維持及び活性化その他の住民が将来にわたり安全に安心して暮らすことのできる地域社会の実現を図るため特別に地方債を財源として行うことが必要と認められる事業。（過疎債事業）

霧島市総合計画の基本計画に基づき、計画した道路ネットワークの市道及び橋梁について、調査設計及び施工を計画的に行う。

- ・計画路線の調査測量設計業務の委託を行う。
- ・計画路線について地元説明会を行う。
- ・道路用地の買収に係る交渉及び契約を行う。
- ・道路改良工事を行う。

① 活動指標（事務事業の活動量）		単位	23年度 （実績）	24年度 （実績）	25年度 （実績）	26年度 （見込）	27年度 （見込）
ア	事業路線	路線	10	10	10	8	12
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 （誰、何を対象にしているのか）		③ 対象指標 （左記②対象の大きさを表す指標）	単位	23年度 （実績）	24年度 （実績）	25年度 （実績）	26年度 （見込）	27年度 （見込）
ア	過疎地域に住んでいる市民							
イ	過疎地域を訪れる人							
ウ								

④ 意図 （②対象をどうしたいのか）		⑤ 成果指標 （左記④意図の達成度を表す指標）	単位	23年度 （実績）	24年度 （実績）	25年度 （実績）	26年度 （目標）	27年度 （目標）
ア	円滑に移動できる							
イ	安心して訪れることができる							
ウ								

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 （さらにどのような成果に結びつくのか）		⑦ 基本事業の成果指標 （左記⑥意図の達成度を表す指標）	単位	23年度 （実績）	24年度 （実績）	25年度 （実績）	26年度 （目標）	27年度 （目標）
ア	安全・快適に移動ができる							
イ								
ウ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
（法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等）

横川地区の今村～黒葛原線、福山地区の池田～財部線に道路拡幅の早期着工、早期完成の要望が寄せられた。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 （決算）	24年度 （決算）	25年度 （決算）	26年度 （計画）	27年度 （計画）
事業費 投入量	国庫支出金	千円		0	0	0	0
	県支出金	千円		0	0	0	0
	地方債	千円		181,300	175,800	187,000	199,500
	その他	千円		0	0	0	0
	一般財源	千円		1,418	541	0	0
事業費		千円	0	182,718	176,341	187,000	199,500

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績（取組）	(2) 平成25年度の成果
<p><取組内容を数値等により具体的に記載></p> <p>○24年度繰越工事 城山2号線(工事延長48m)、三体堂線(工事延長234m)、落水田～万膳線(用地一式)、宝瀬線(用地補償一式)</p> <p>○25年度工事 下植村・下新原線(工事延長94m)、今村～黒葛原線(設計委託600m)、城山2号線(工事延長27m) 三体堂線(工事延長110m) 三体堂～浅谷線(橋梁設計、地質調査) 牧野柴建線(工事延長252m) 宝瀬線(工事延長255m) 大屋敷線(カルバート橋1基) 池田～財部線(設計委託304m)</p>	<p><左記の実績(取組)による成果を記載></p> <p>今年度は横川地区の下植村・下新原線、牧園地区の三体堂線、福山地区の牧野柴建線、宝瀬線、大屋敷線の改良工事を進めたことにより、地域市民の円滑な移動性が高まり、地域を訪れる人の安心感も向上した。さらに、横川地区の今村～黒葛原線、福山地区の池田～財部線の測量設計が完了し、工事着手に向けての準備が整った。</p>

事務事業コード	01020107	事務事業名	過疎対策事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
	<input type="checkbox"/> 結びついていない		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
C 効率性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		
D 公平性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト削減を図っているため、これ以上の事業費の削減はできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	事業に関しては最低限の職員数で担当している。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督業務は勤務時間内に対応することで人件費の抑制を行っている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない			
<input type="checkbox"/> 削減できる			
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
<input type="checkbox"/> 公平・公正である			
<input type="checkbox"/> 見直す必要がある			

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	設計段階において、工法の詳細検討をして、よりコスト削減を図っており、継続して事業を行う。工事用地の取得を進め、事業の進捗を図り、成果の早期発現に努める。							
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	過疎地域における、住民の安心安全な移動のための交通手段の確保を図るため、道路の整備を行う。(予定) 横川地区・・・城山2号線、下植村・下新原線、今村～黒葛原線 牧園地区・・・宿窪田線、三体堂線、落水田～万膳線、三体堂～浅谷線 福山地区・・・福地線(新規)、池田～財部線							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2) 総評	・「7(3) 平成27年度の方向性・取組目標」について、地域別に具体的に記述するよう指導した。 ・各路線については、他の有利な事業との比較を行いながら事業費の削減余地の検討も行っており、可能な限り人件費の削減にも取り組んでいることから、過疎地域で住民が将来にわたり安心して暮らすことができる地域社会を実現するために、この事業については継続すべきものと判断する。							

1. 基本情報										
事務事業コード	01040701	事務事業名	土木施設災害復旧事業			担当部	建設部			
					担当課	土木課				
政策名	01 快適で魅力あるまちづくり				グループ	河川港湾グループ				
施策名	04 防災対策の推進				電話番号	45-5111				
基本事業名	07 災害復旧対策の推進				内線番号	2781				
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 26 期間限定複数年度(~)				
	款	11 災害復旧費				根拠法令・条例等				
	項	02 公共土木施設災害復旧費								
	目	01 土木施設災害復旧費								
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられている事務)				関連計画					
事務種別	施設・設備・道路整備事務		裁量区分	裁量性強	評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>									
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)									
台風や大雨などの異常な自然現象により被災した、市が管理する普通河川・準用河川及び市道などの土木施設の復旧を図る。 普通河川:99河川 157.09km 準用河川:65河川 100.08km 市道:2,432路線 1,606km									

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア	公共施設被災復旧箇所数	箇所	51	40	33	35	35
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的									
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)	
ア	被災箇所(市全域)								
イ									
ウ									
④ 意図 (②対象をどうしたいのか)		⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)	
ア	災害から市民の安全を守る								
イ									
ウ									

(3) 上位の基本事業									
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)		⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)	
ア	被災箇所が復旧される								
イ	日常的な生活を送ることができる								
ウ									

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)		4. 事業費の推移		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
被災箇所の早急な復旧が望まれている。		事業費 投入量	国庫支出金	千円		0	20,581	7,437	7,437
			県支出金	千円		0	0	0	0
			地方債	千円		0	18,500	10,500	10,500
			その他	千円		0	0	0	0
			一般財源	千円		0	25,225	937	937
			事業費	千円		0	0	64,306	18,874

5. 平成25年度の実績及び成果									
(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>					(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>				
【公共災害】 河川災害 5箇所 道路災害 8箇所 【単独災害】 河川災害 5箇所 道路災害 15箇所					被災箇所の早急な復旧により、二次災害が防止され市民生活の安全が図られた。				

事務事業コード	01040701	事務事業名	土木施設災害復旧事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
	<input type="checkbox"/> 結びついていない		
B 有効性	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
C 効率性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		
D 公平性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	災害復旧事業は、原形復旧が原則であることから、事業費の削減はできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	工事事務や現場対応等は市の職員でなければ対応できない業務であり、削減はできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	公共施設災害の軽減や被災を未然に防止するために、適切な維持管理(パトロール・修繕等)を行っていく。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	引き続き公共施設の災害被災箇所を復旧し、市民の安全を図っていく。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									

1. 基本情報									
事務事業コード	01020101	事務事業名	新川北線道路整備事業			担当部	建設部		
					担当課	土木課			
政策名	01 快適で魅力あるまちづくり				グループ	道路整備第1・2G			
施策名	02 交通体系の充実				電話番号	45-5111			
基本事業名	01 道路ネットワークの構築及び道路施設の保全				内線番号	2771・2774			
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ H22 ～ H28 ）			
	款	08 土木費							
	項	02 道路橋梁費							
	目	03 幹線市道整備事業費			根拠法令・条例等				
事務の区分	自治事務（法令で義務付けられていない事務）				関連計画				
事務種別	施設・設備・道路整備事務			裁量区分	裁量性強	評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細を記述）
 霧島市総合計画の基本計画に基づき、計画した道路ネットワークの市道及び橋梁について、調査設計及び施工を計画的に行う。
 ・計画路線の調査測量設計業務の委託を行う。
 ・計画路線について地元説明会を行う。
 ・道路用地の買収に係る交渉及び契約を行う。
 ・橋梁工事を行う。
 ・平成25年度 橋台 1基、橋脚 2基
 ・平成26年度 橋脚 1基、橋梁上部工 1式
 ・平成27年度 橋梁上部工 1式

① 活動指標（事務事業の活動量）		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア	下部工	基	1(P1)	1(A1)	3(A2,P3,P4)	1(P2)	
イ	上部工	式				1	1
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 市民							
イ 道路の利用者							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 通行の安全が図られる。							
イ 快適に移動できるようになる。							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 安全・快適に移動ができる							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
 この新川北線の道路整備に対して早期完成の要望が寄せられており、特に新設橋であるしらさぎ橋の早期完成の要望が寄せられた。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円		85,140	94,820	27,500	22,000
	県支出金	千円		0	0	0	0
	地方債	千円		168,800	588,300	456,900	795,700
	その他	千円		0	0	0	0
	一般財源	千円		8,953	31,167	24,116	42,300
事業費		千円	0	262,893	714,287	508,516	860,000

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組)	(2) 平成25年度の成果
<取組内容を数値等により具体的に記載> ○24年度繰越工事 P3橋脚、P4橋脚 ○25年度工事 A2橋台	<左記の実績(取組)による成果を記載> 新たに、しらさぎ橋下部工のA2橋台が完成し、これまでにA1橋台、P1、P3、P4橋脚を含めると下部工6基の内5基が完成した。

事務事業コード	01020101	事務事業名	新川北線道路整備事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
C 効率性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
D 公平性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
C 効率性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト削減を図っているため、事業費の削減はこれ以上できない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	事業に関しては最低限の職員数で担当している。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督業務は勤務時間内に対応することで人件費の抑制を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <							
		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1) 事務事業の改革改善の方向性		○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	<p>・設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト削減を図っており、継続して事業を行う。</p> <p>・しらさぎ橋の上部工事において、総合評価方式(特別簡易型)入札を採用することで、経済性に配慮しつつ価格以外の多様な要素をも考慮して品質及び価格が総合的に優れた内容の契約を行うことに寄与したい。</p>								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	平成26年度に引き続き、しらさぎ橋の上部工の整備を行い、あわせて、平成28年度に実施するしらさぎ橋の取付道路の詳細設計を行うことで事業を推進したい。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1) 事務事業の改革改善方向性									
(2) 総評									

1. 基本情報									
事務事業コード	01020102	事務事業名	幹線市道整備事業			担当部	建設部		
					担当課	土木課			
政策名	01 快適で魅力あるまちづくり				グループ	道路整備第1・2G			
施策名	02 交通体系の充実				電話番号	45-5111			
基本事業名	01 道路ネットワークの構築及び道路施設の保全				内線番号	2771・2774			
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ ~ ）			
	款	08 土木費							
	項	02 道路橋梁費							
	目	03 幹線市道整備事業費			根拠法令・条例等				
事務の区分	自治事務（法令で義務付けられていない事務）				関連計画				
事務種別	施設・設備・道路整備事務			裁量区分	裁量性強	評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細を記述）
 霧島市総合計画の基本計画に基づき、計画した道路ネットワークの市道及び橋梁について、調査設計及び施工を計画的に行う。
 ・計画路線の調査測量設計業務の委託を行う。
 ・計画路線について地元説明会を行う。
 ・道路用地の買収に係る交渉及び契約を行う。
 ・道路改良工事を行う。

① 活動指標（事務事業の活動量）		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア	事業路線	路線	4	3	2	5	5
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア	市民							
イ	道路の利用者							
ウ								

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)		⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア	通行の安全が図られる。							
イ	快適に移動できるようになる。							
ウ								

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)		⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア	安全・快適に移動ができる							
イ								
ウ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
 各路線に対して、地元自治会等から道路拡幅および道路新設の早期完成の要望が寄せられており、特に馬立北原線の整備の要望が寄せられた。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円		116,371	86,242	164,450	154,000
	県支出金	千円		0	0	0	0
	地方債	千円		77,000	29,600	127,800	119,600
	その他	千円		0	0	0	0
	一般財源	千円		18,216	40,968	6,750	6,400
事業費		千円	0	211,587	156,810	299,000	280,000

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組)	(2) 平成25年度の成果
<取組内容を数値等により具体的に記載> ○24年度繰越 住吉東線(工事延長113m) 上小川～迫田線(延長560m) ○25年度工事 住吉東線(工事延長122m) 馬立北原線(設計委託152m、用地補償一式)	<左記の実績(取組)による成果を記載> 今年度は隼人地区の住吉東線が一部完成したことにより、通行の安全が図られ快適に移動できるようになった。 また、溝辺地区の馬立北原線の測量設計が完了し、工事着手に向けた準備ができた。

事務事業コード	01020102	事務事業名	幹線市道整備事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
C 効率性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
D 公平性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		
	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト削減を図っているため、事業費の削減はこれ以上できない。	
E 効果性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	事業に関しては最低限の職員数で担当している。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督業務は勤務時間内に対応することで人件費の抑制を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
F 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	<p>・設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト削減を図っており、継続して事業を行う。</p> <p>・平成26年度から鎮守尾～上之原線、川跡～有下線、論地通り1号線の3路線を幹線市道整備事業として重点的に整備することで早期完成を図りたい。</p>							
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	<p>道路ネットワークの構築に向けて、幹線道路の渋滞解消のためのバイパス道路の整備や地域の拠点施設等を結ぶアクセス道路の整備を行う。</p> <p>・国分地区・・・鎮守尾～上之原線、川跡～有下線</p> <p>・隼人地区・・・住吉東線</p> <p>・溝辺地区・・・馬立北原線、論地通り1号線</p>							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評								

事務事業 コード	01020102	事務 事業名	幹線市道整備事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成25年度 (決算)	平成26年度 (当初予算)	平成27年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費			
	消耗品費			
	燃料費			
	食料費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料			
12	役員費			
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料			
13	委託料	10,197	12,000	8,000
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費	117,992	166,000	140,000
16	原材料費			
17	公有財産購入費	20,164	35,000	54,000
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金			
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金	8,457	86,000	78,000
23	償還金利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		156,810	299,000	280,000
財源内訳	国庫支出金	86,242	164,450	154,000
	県支出金			
	地方債	29,600	127,800	119,600
	その他			
	一般財源	40,968	6,750	6,400
計		156,810	299,000	280,000
補助率	国	0.55	0.55	0.55
	県			
補助基本額				

平成25年度補正・流用状況

当初予算	267,557
補正予算	
補正回数 1 回	
補正回数 2 回	
補正回数 3 回	
補正回数 4 回	
補正回数 5 回	
補正回数 6 回	
補正回数 7 回	
補正回数 8 回	
流用・充用	-63,190
予算合計	204,367

特定財源内訳

区分	名称	金額
地方債	合併特例債	29,600
国庫支出金	社会資本整備総合交付金	86,242
合計		115,842

1. 基本情報										
事務事業コード	01040201	事務事業名	河川維持管理事業			担当部	建設部			
						担当課	土木課			
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり				グループ	河川港湾グループ			
施策名	04	防災対策の推進				電話番号	45-5111			
基本事業名	02	災害危険箇所の整備				内線番号	2781、2782			
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 19 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)				
	款	08 土木費				根拠法令・条例等	特になし			
	項	03 河川費								
	目	01 河川管理費								
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)				関連計画					
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 強	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

護岸決壊や河川氾濫等の水害を未然に防ぐため、市が管理する河川(準用河川65本、普通河川99本)の堤防陥没・浸食等、小規模な被災箇所の修繕補修や除草など日常管理を行う。
 ①護岸、河道、工作物等の異常を巡視や通報により把握
 ②現場状況確認
 ③実施要否判断
 ④関係機関と協議
 ⑤修繕や改修工事・委託の発注
 ⑥工事委託終了後の検査
 ※河川内の雑草除去については河川ボランティア等と協働で行っている箇所もある。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 工事、修繕箇所	箇所	4	4	3	3	3
イ 寄洲除去、伐採箇所	箇所	2	5	6	6	6
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 維持補修の必要な河川	維持補修の必要な河川の数	河川	164	164	164	164	164
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 安全に良好な通水が保たれる	年度対応率(修繕対象箇所数/改修が必要と判断された箇所数)	%	100	100	100	100	100
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 安全性が確保される	危険箇所数に対する整備済箇所数の割合=工事進捗率(砂防関係)	%	31.0	31.5	32.0	32.5	33.0
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
 公共土木施設災害復旧事業に該当しない小規模な被災箇所の復旧、堤防の維持補修および除草を行うことで、安全性の確保を図る目的で平成19年度より開始した。豪雨、台風等により被害状況は異なるが、局所的な集中豪雨などが発生し易く、また、護岸施設の経年劣化等により小規模な堤防の陥没・吸い出し、路肩の決壊などが増える傾向にある。市民から、被災箇所を小規模な被災の段階で復旧し、被災箇所の拡大及び二次災害の防止を図るために、早急な整備が求められている。住民の生活に密接に関係しているため、早めの対応(補修・修繕等)を求められている。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0
		地方債	千円		0	0	7,200
		その他	千円		0	0	0
		一般財源	千円		6,300	4,827	6,300
		事業費	千円	0	6,300	4,827	13,500

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

護岸補修や修繕を3箇所、また維持管理に伴う寄洲除去・草木類の伐採を6箇所実施した。	市の管理する河川において、被災箇所の護岸補修や修繕を実施した。また維持管理に伴う寄洲除去・草木類の伐採を行い、景観の確保や水害の未然防止を図ることができた。
---	--

事務事業 コード	01040201	事務 事業名	河川維持管理事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	維持補修の必要な河川が整備されることにより安全性が確保されることに結びついている。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	準用河川及び普通河川の維持管理は管理者である市の責務であり、河川災害は市民生活に直結することからも妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	河川の維持管理については、高齢化に伴う苦情・要望が増加しており、修繕箇所や伐採等の要望件数を対応することは困難である。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	河川災害を未然に防止するための維持管理事業であることから、廃止・休止することはできない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合 河川景観保全アダプト(里親)制度推進事業 河川アダプト制度は市民生活に直結している部分的な支障箇所のみを対応しており、河川内の寄洲や伐採とは直接結びつかないので連携はできない。
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	必要最小限度内での修繕や補修であり、苦情・要望は増加していることから、事業費の削減余地はない。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	施工のための工事費積算・現場指導は、職員が担当することになる。これらは市職員でなければ対応できない業務となるため削減はできない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業実施については、市域全体の河川を対象としていることから公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	コスト削減を意識し、必要最小限度の範囲で補修・修繕を行っていくが、防災上必要不可欠な事業であることから維持管理については、今後も継続的に行っていく。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	堤防陥没・浸食等の被災箇所を小規模な段階で必要最小限度の範囲で補修・修繕を行っていく。豪雨等による堆積土砂の除去、老朽化や経年劣化による施設の維持管理については、今後も継続的に行っていく。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									

